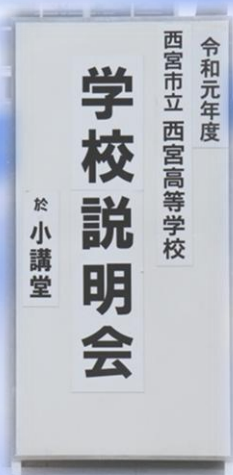


令和元年度 第3回学校説明会

【中学生・保護者の方々を対象】



8月25日（日）、第3回学校説明会を3部に分けて実施しました。第1部は9時30分より西宮市立中学校の方々を、第2部は12時30分より西宮市以外の公立中学校及び国立・私立中学校の方々を、第3部は14時30分より西宮市立中学校の方々を対象として行わせていただき、のべ1045名という大変多くの中学生・保護者の方々のご出席をいただきました。

全体説明会では本校の学習活動や進路指導の取り組み等について、教務部主任・進路指導部主任から説明を行い、また、1学年特色選抜入学生徒が学校生活や、来春への本校受験への心構えや体験等について説明を行いました。

全体説明会の前後では、本校の施設・設備や部活動の様子を見学いただき、本校の特色についてご理解を深めていただきました。

【学校長の挨拶】

みなさん、おはようございます。

本日は本校の学校説明会にお越しいただきまして、ありがとうございます。

本校は、大正9年に「西宮高等女学校」として開校し、昭和23年に現在の「西宮市立西宮高等学校」となりました。「西宮高等女学校」の時代から数えて今年で99年目となり、来年度はいよいよ創立100周年を迎えます。

本校では「全人教育」を校是としまして、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の『知徳体』を備えた生徒の育成を目指しています。また、「生徒一人ひとりを大切に」する教育活動を実践しています。

さて、これからの社会は人工知能、いわゆるAIが飛躍的に進化して「いずれは多くの職業がAIに代わられてしまう」と予測されています。

ています。しかし、AIがいくら進化しても、人間にしかできない資質・能力があるといわれています。

*1つ目は「文章の表現やコメントのニュアンスから、趣旨を正確に読み取る」こと。

*2つ目は「複数の文章やコメントから、関連性を考えて、それを理解し自分の考えを表現する」こと。

*3つ目は「他人の意見やアイデアを活用しながら、他人と協力して、次のステップに進む」といったようなことです。そして、これらの力が、『これからの社会を生き抜くために必要な力』と言われてしています。

本校では、これまで様々な教育活動をととして、これらの資質・能力を育成してきていると、自負をしております。これからも、生徒自らが「問題を分析し、解決策を考え、適切な表現方法で伝える力」というものをさらに伸ばしていくように育てていきたいと考えております。

本日の学校説明会では、特色選抜で入学した1年生の生徒たちが、受付や説明会の進行をしてくれます。またこの後、生徒による学校説明もあります。

短い時間ではありますが、本校の魅力を感じ取っていただき、みなさんが「自ら進んで学びを行いたい学校」の一つとして、考えていただけたら大変ありがたく思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。



【教務部主任の説明】

1 本校の入学選抜について

本校の入試はグローバル・サイエンス科（以下、G S科）推薦入試、普通科特色選抜、そして普通科複数志願選抜の3つがあります。このうち、G S科推薦入試は兵庫県全体を学区として受検することができます。数学・理科は高度な内容の授業を行いますので、将来は理系の研究者等を志望する人などが入学します。一方、普通科特色選抜は2月にG S科推薦入試と同時に選抜を行いますので、これらを同時に受検することはできません。この特色選抜の特色は、本校でも強くリーダーシップを発揮して、将来社会に貢献できる人材の育成を目指しているところです。最後に普通科複数志願選抜は、文系・理系どちらかを志望する人が受検できます。



2 本校入学後の学校生活

（1）本校の教育課程と学習活動

本校は週5日制ですが毎週月曜日・火曜日・木曜日は7限（7コマ）、水曜日・金曜日が6限（6コマ）の授業を行います。そのため、1週間に計33限（33コマ）の授業を行います。因みに1限の授業時間は50分です。また、3学期制ではなく、4月から9月までの前期、10月から3月までの後期による2学期制を採用しています。これらのことから本校は他の高校と比べて1年間の授業時間が多いことが特徴となります。

次に各入試による教育課程等の特徴を説明します。まず、G S科ですが、これは理系の専門学科となります。そのため、定員の40名で1クラスを編成して、3年間クラス替えもなく、同じ級友と学校生活を送ることになります。また、学年が進行するごとに数学・理科の授業時間数が多くなっていきます。

普通科特色選抜及び複数志願選抜で入学した場合について説明いたします。本校ではG S科及び複数志願選抜で入学した人に、本校卒業後は理系の進路に進んでいただき、特色選抜入試で入学したは原則として将来文系への進路を目指していただきたくようにしています。クラスは複数志願選抜入学による人と一緒に編成します。1学年では全員が同じ教科・科目の授業を受けます。そして、1学年の10月頃に2学年以降に文系・理系どちらの進路を志望するかを決めていただきます。教育課程は文部科学省の定めた学習指導要領に基づいて編成しています。学習指導要領では、高校3年間で必ず学ばなければならない科目等を決めており、それらを学ばなければ卒業できません。それは2学年以降の文系・理系で異なるため、一度2学年で文系・理系を決めると、3学年で変更することはできません。また、G S科から普通科、普通科からG S科への転科もできません。

文系と理系の違いは、高校卒業後の志望進路によって選択していただきますが、文系は2・3学年で国語・地理歴史・公民・英語の各教科を学ぶ時間が多く、理系は数学・理科・英語を学ぶ時間が多いことが特徴となります。本校では文系を選択した大半の生徒が国公立大学への進学を志望します。そのため、大学入試センター試験では文系・理系共に国語、数学、地理歴史・公民・英語の五教科を受験します。しかし、私立大学のみを志望・受験する生徒もおりますので、3学年文系では大学入試にはない数学を授業で行わないコースも設置しています。

一方、理系では「科学探究フィールド」と「看護・栄養系フィールド」の2つのコースを設置しています。これは、「科学・探究フィールド」は主に大学の工学部・理学部などを志望する人、「看護・栄養フィールド」は看護系、大学の薬学部・農学部等を志望する人に設置しています。そのため、3学年で「科学探究フィールド」は数学を1週間に8時間設置されていることに対して、「看護・栄養フィールド」は数学を1週間に6時間設置して、2時間は志望進路や関心等に応じて理科などの科目を選択できるようにしています。このように、それぞれの志望進路に応じてながら文系・理系、コース等を選択していただき、3年間の学びを行っていくことになります。

（2）学校生活での特徴

本校は、ほぼ全ての生徒が大学進学を目指しておりますが、学習活動以外でも様々な特色があります。

まず、部活動ですが、運動部・文化部ともに大変活発です。生徒の部活動加入率は90%を超えています。運動部では、男子ソフトテニス部の全国大会、陸上競技部の近畿大会出場を始め、県大会でも上位に進出する部が多いです。また、文化祭や体育祭の二大行事も自治会（生徒会）役員を中心に生徒による実行委員会を開催して内容等を決定します。このように、学習面でも生徒は自主的かつ大変活発に活動しています。

1日の生活サイクルも、授業⇒部活動⇒家庭学習と目まぐるしく動きますし、家庭学習で行う課題も大変多く出されます。そのため、生徒は日々充実した生活を送っていますが、時間を有効的に活用して上手に休息を取る工夫が必要となります。例えば、今年3月に卒業した3年生中には、冬場に敢えて寒い廊下で自習を行う生徒もいました。

このように、本校での学校生活は厳しい部分もありますが、全ての生徒が前向きに全体で活動しますので、様々な場面で助け合ったり刺激を受け合う場面があります。大変有意義な高校生活を送ることができると思いますので、本日はぜひ本校のカラーを感じ取っていただければと有り難く思います。

【進路指導部主任の説明】

1 本校における進路指導とは

本校の進路指導の大きな特徴として、「生徒一人一人の志望に応じたきめ細かな進路指導」という点が挙げられます。そのため、担任との面談は当然ですが、進路指導専任の教員や各教科担任も含めて、様々な面から助言やアドバイスを行っています。

2 進路行事について

次に本校の特色ある進路行事について、代表的なものを説明いたします。

(1) 特別時間割（12月）

これは3年生を対象としており、いよいよ大学受験が近づいてくる12月より受験科目に特化した時間割を編成して、学校での授業で最後の追い込みをかけるようにしています。

(2) 進路講演会（3月）

これは、1・2年生を対象に実施しておりますが、2月に卒業した3年生を招いて、自らの志望進路をどのように達成していったのかを講演と質疑応答形式で行い、1・2年生徒の進路への意識向上を図っていきます。

(3) 東京研修（12月）

この研修は志望生徒を対象に1泊2日で実施しています。東京都内中心部にある主要大学や政府諸機関を見学することで、見聞を広めると共に志望進路の決定の一助としています。

3 進路資料室について

進路指導においては、様々な資料を収集して分析を行うことが大切です。本校の進路資料室には、全国の国公立大学及び本校生徒が多く受験する関西及び関東の主要私立大学の大学案内を揃えています。また、いわゆる『赤本』（大学入試過去問題集）も同様の形式で揃えています。この部屋は自習室としても使用できますので、生徒は授業前の早朝や放課後を中心に、自学自習を行ったり関心のある大学のリサーチを行っています。この説明会の後に校内施設を見学していただく時間を設けていますので、ぜひご見学ください。

4 過去3年間の進路実績について

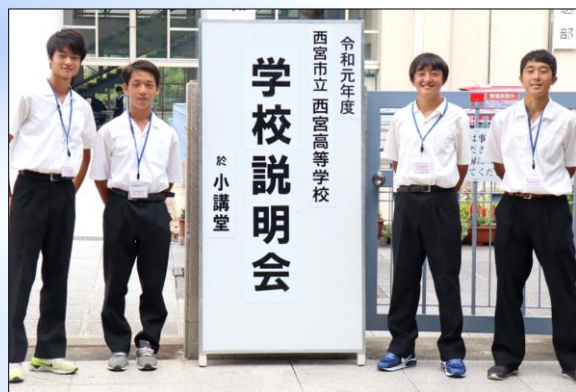
本校の生徒も多くは国公立大学へ進学していきますが、特に大阪大学・神戸大学を志望、合格する生徒が多いです。例えば、この3月に卒業した生徒では、京都大学合格6名、大阪大学23名、神戸大学32名を始め、158名が国公立大学に合格していますが、これは、生徒一人がひとつの大学を合格したことになります。私立大学では、一人で複数の大学を合格しますが、関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学への合格者を全国でもトップレベルで輩出しています。

一方、GS科の今年度卒業生の主な進路実績は、東京大学2名、京都大学4名、大阪大学3名、神戸大学3名となっておりますので、是非ご参考にしてください。

これらの進学実績は、単に難関大学に合格したということではなく、生徒一人一人の志望進路を達成した結果であります。先程の教務部主任も申しましたが、本校の生徒は学習活動のみならず、学校行事や部活動を始め、校内外の様々な場面で活躍して目指す進路を実現しています。進路指導部はそれらを全力で支援してまいりますので、どうかよろしくお願いいたします。



学校説明会生徒運営スタッフ〈特色選抜1年生・放送部〉



来校された方への案内・誘導



メインエントランスでの受付



説明会場での司会・進行



主会場での音響調整

在校生(74回生 1年生)の話[1] : 高校受検前に大切にすること

私からは、市西を志望した理由と受検対策、勉強方法についてお話しします。

私が市西に入りたいと思った理由は、より多くの個性を持った人たちと関わって、自分の力をもっと伸ばしていきたいと思ったからです。市西は『文武両道』のモットーのもと、勉強ばかりでなく、部活動や学校行事にも全力で取り組む学校です。私が初めて市西の学校説明会に来た時、先輩方の部活動に熱中する姿や高校での青春話を聞いて、私もここで自分の力を発揮したいと強く思い、市西を志望することに決めました。皆さんも「ここに行きたい!」という、強い意志を持って受検勉強に取り組んでほしいです。

今、中学校3年生の皆さんは部活動を引退した人が多く、学校が終わってから時間がある人が多いと思います。しかし、実際にその時間に何をすれば良いのか分からない人もいると思うので、私が受検生の時に行っていた勉強内容を紹介します。

それは、学校の課題をきっちりと丁寧にやって理解することです。入試で過去問を解くことも後には必要になりますが、今はまず基礎を理解して、応用につなげる力をつけることが大切だと思います。過去問は冬休みに暗記するぐらい解いていくので、今は心配する必要はありません。

また、隙間(すきま)の時間を有効に使うことも大切です。私は中学生の時、陸上部に入りながら校外でチアダンスを行っていたので、陸上部を引退してから土・日曜日に勉強する時間があまりありませんでした。そこで、移動中の電車の中や家庭でテレビを見ている時にCMの時間などを使って、英単語などを覚えることなどを行いました。本日出席している皆さんの中にも、まだ校外で習い事をしていたり、時間に余裕がない人がいるかもしれません。しかし、焦らなくても大丈夫です。日々の少しずつの努力が必ず受検に役立ちます。今までコツコツ行っていた人は受検にも強いです。自分を信じて頑張ってください。今、少し不安な人も、これからしっかり勉強すれば必ず結果はついてくるので、怖がらなくとも大丈夫です。

私達は、皆さんが市西に来てくれることを楽しみにしています。



在校生(74回生 1年生)の話[2] : 本校での生活や文化祭について

私からは、普段の市西の様子や文化祭の様子についてお話しします。

まず、普段のクラスの様子は、一見あまり中学校と変わりがありません。昼休みもクラスの友達と一緒に弁当を食べたり、食堂に行っています。

しかし、勉強熱心な人が多く、とても刺激を受けます。授業で分からないことがあった時、友達に聞くとすぐに答えてくれる人がたくさんいます。共に向上し合える仲間ばかりです。市西は勉強と部活動の両方を大事にしているので、どちらも懸命に取り組む友達を見ていると、私も頑張ろうという気が湧いてきて、より一層努力することができます。

授業は1時限(1コマ)あたり50分間で、10分間の休憩を挟み、月曜日・火曜日・木曜日は7眼目まで授業があります。授業の様子はとても静かで集中しています。市西は空調も整備されていて快適に勉強することができるので、さらに集中することができます。

市西は二学期制なので、一見テストが少ないと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、定期考査に加えて、一斉考査という英語と数学のみのテストもあるので、テストの回数は多いです。最初は慣れないかもしれませんが、それに向けてまた勉強するので、自分のためになっています。また、だんだんとペースも慣れてくるので心配はありません。

市西は、勉強はもちろん、行事にも力を入れています。私も所属している生徒自治会が主体となり、全校生徒が何日も前から準備する文化祭が先月5日・6日にありました。文化祭は準備の段階から楽しかったです。準備や製作、買い出しなどは大変で忙しいですが、みんなで協力したものが完成した時の達成感はとても大きなものでした。来場者が2000名を超える文化祭は、運営することも回って観ることもどちらも楽しめて、たくさんよい思い出ができます。また、部活動の出し物もとても見応えがあります。

市西に入って感じたことは、分からないことがあれば積極的に質問し、様々なことに挑戦すべきだということです。高校は中学校と違い、受け身姿勢ではいけません。分からないことも自分から情報を収集していかなければ、後で自分が困ると感じました。また、市西では社会見学や補習などの募集があり、これらにも積極的に参加するべきだと感じました。参加することで貴重な体験ができて様々なことを学べました。

市西は勉強・部活動・行事、どれでも全力投球できてお互いに高め合うことができる学校です。市西での学校生活は忙しいですが、毎日充実していて、私は心から楽しんでます。

皆さん、一緒に市西で楽しい学校生活を送りましょう。

全体説明会の様子 施設・部活動見学





いただいた質問

(※令和元年度実施分)

1 特色選抜入試での合格と、複数志願入試で合格した場合で学校生活に違いはありますか？

A 授業内容やクラスに違いはありません。特色選抜で合格した人と複数志願選抜で合格した人は隔てることなくクラス分けを行い、全員が同じ授業を受けます。但し、特色選抜の趣旨として、「地域社会や国際社会で活躍し、リーダーシップを発揮できる人材を育成する。」ことが挙げられます。そのため、特色選抜で合格した人だけへの独自の行事や活動(西宮市議会の見学、西宮市長との懇談や企業見学、大学教授による集中講義など)を夏休みや放課後に実施します。

2 特色選抜入試で合格した場合、将来、理系関係を志望することはできますか。

A 特色選抜で合格した人は大原則として文系への進路を志望してもらっています。これは、本校には理系志望の専門学科として「グローバル・サイエンス科」を設置しており、理系分野に関する様々な学習活動を実践しているためです。そのため、将来、理系を志望する人は、ぜひ「グローバル・サイエンス科」もしくは複数志願選抜入試で合格して目指していただくことをお勧めします。

3 自転車通学はどのようになっていますか？

A 本校では自転車通学は許可制を取っています。本校の敷地はそれほど広くなく、駐輪場スペースを広げることにはできません。一方で、学区の改編・拡大により遠隔地から通学する生徒は増加しています。そのため、今年度の入学生から、自宅から本校までの通学経路を地図で実測して、概ね片道2.5km以上の生徒は自転車通学を申請できる方法にしました。しかし、駐輪台数には限りがありますから、申請した全ての人に許可できるとは限りません。このような事情を勘案していただき、ご了承くださいますようお願いいたします。

4 大学入試改革へはどのように対応していますか。

A 現在、進路指導部教員を中心に大学入試センター試験を始め、新しい大学入試に関する情報を収集・分析して生徒・保護者の皆様へ情報を提供しています。新大学入試では、特に「表現力」「記述力」が求められていきますので、その力を生徒に育成するために、各教科で新たな授業を実践するための教員研修会等を実施しています。

5 英語の授業では日本語は使われますか、それとも全て英語で実践されますか？

A 昨今、英語の授業は「全て英語で行う」が中学校・高校で推奨されていますが、高校での授業は内容のレベルが高く現実的には日本語による説明が必要な場合もあります。ただし、ALT(本校ではアメリカ人アシスタント英語教員)による授業は全て英語で行います。

6 海外語学研修はどのように行っていますか。

A 本校では2年生を対象に、8月にニュージーランドへ約2週間の語学研修を行っています。主にホームステイを行いながら現地の高校に通学して英語を学ぶと共に現地の方々と文化交流を行います。定員は20名となっていますが、人気が高いために抽選になる場合もあります。また、西宮市に在住する生徒は、西宮市教育委員会が主催する、アメリカ合衆国姉妹都市スポークン市への短期交換留学に参加することもできます。